



成人式 1月10日

# 特産品、キャンドル門出祝う

## 管内14市町で成人式

「成人の日」を前にした9、10の両日、空知管内の14市町で成人式が行われた。道教委によると、管内の本年度の新人は2382人(男性1280人、女性1102人)で、前年度より143人減少。新型コロナウイルスの感染拡大で管内9市町が3月以降に式典を延期する中、華やかな振袖やスーツに身を包んだ新人が大人としての決意を新たに誓った。

### 新人 143人減の2382人

新十津川町の式典は10日、町総合健康福祉センターで、町長が祝辞を述べた。56人が出席し、新人代表の挨拶があった。



看新人がキャンドルセレモニーを行った三笠市の式典。笑顔で記念写真に納まる秋父別町の新人



品で門出を祝おうと、今年初めて町産米や町内産の日本酒などを贈った。同日に三笠市の市民会館で行われた式典では、新人28人がキャンドルセレモニーに臨み、幻想的な炎に未来への願いを込めた。新人代表の佐藤ななえさんが「立派な社会人となるよう努力を重ね、まい進していく」とあいさつした。月形町の式典は9日、町交流センターで行われ、新人8人が出席。成人としての宣言文を読み上げた斎藤百花さんは「歯科衛生士の資格を取り、社会に役立つような大人になりたい」と目を輝かせた。

# 異例の門出 自覚と願いと

## 道内65市町村で成人式

「成人の日」の前日の10日、道内65の市町村で成人式が行われた。新型コロナウイルスの感染拡大により、85の市町村が延期や中止を決めた中、各会場では感染防止に配慮。札幌市など中止となった13市町でも、代替の催しなどが開かれた。コロナ禍で人生の節目を迎えた新人たちは、感染対策の願いとともに、大人への一歩を踏み出した。

道内65市町村では、新人141人が式典に出席し、晴れ着にマスクやマウスシールド姿で友人との再会を喜んだ。飛沫が飛ばないよう歌などはないが、保護者の入場制限も行ったが、白濁職員員の船坂恭平さん(20)は「大人になった実感がわいた。仕事をめんどろ張りたい」と決意を新たに誓った。

47人が出席した室蘭市では、式典を出席者ごと3回に分け、約30分ずつに短縮して行った。壇上での接触を避けるため、新人代表の宣誓も取りやめ、銅路公立大2年の遠田勇気さん(19)は「コロナ禍で大変な世代と言われるが、ピンチをチャンスに変え、公認会計士を目指したい」と目標を語った。

稚内市でも密集を避けるため、三つのグループに分かれて入場。新人192人には式典後も5人以上の会食の自粛を求めた。市内の会社員3宮武尊さん(20)は「みんなで集まれないのは残念。早く感染が落ち着き、昔の話で盛り上がる日が来れば話した。



## 立ち向かう 新型コロナ

# 中止13市町 撮影会・催しに笑顔



写真店が開いた撮影会、笑顔を見せる新人たち。10日午後2時35分、札幌市中央区の大通公園(野沢俊介撮影)

道教委によると、新人は前年より480人多い4万6890人。道内179市町村のうち、84市町村が1月10日まで、オンラインでの開催を含めて式典を行う。延期や中止は85市町村に上ったが、この日は住民の手で新人を祝う動きが広がった。

札幌市の大通公園では無料の撮影会が開かれ、華やかな振袖やスーツ姿の男女が寒空の中、列をつくった。札幌市の写真店「写真工房はれつ」と札幌中央店が企画し、札幌市北区の大学生長谷彩音さん(20)は「晴れ着を着ることができてうれい。大変な時も負けずに諦めないになりたい」。北区の介護職員小林龍生さん(20)も「業しく幸せな年にしたい」と笑顔を見せた。

マスクやマウスシールドを着け、成人式に臨む白糠町の新人たち。10日午後0時5分、白糠町社会福祉センター(加藤啓朗撮影)

## 短い冬休み終え3学期

### 管内小中46校で始業式



岩見沢市立北村小で3学期の始業式に臨む児童

【岩見沢】市内の余小中の始業式が一堂に行われ、学校計23校で12日、3学期の始業式が行われた。新型コロナウイルスの感染対策を踏まえ、各校は「1次の学年に向けて、毎日大事に過ごして欲しい」とあいさつ。5年生の石沢早希君は「習字な作文がうまくなるように頑張りたい」と話した。

管内の小中学校で3学期が始まる。(橋原康生)

## 不妊治療助成、1回30万円

### 子ども1人ごとに6回まで

不妊治療への政府の助成制度が、初回のみ30万円、2回だったが、これを今月から15万円に引き下げた。事実婚も対象に拡大された。これまでは、2回目以降も30万円に倍増。助成回数も4歳未満の子どもの場合、未滿(治療開始時)のリセットし、より使いやすくなったが、子ども1人ごとに6回へ改めた。例年からは公的医療保険の適用も始まる。

対象は体外受精と顕微鏡受精で、これを受けながら43歳未満の場合、助成を受ける子どもごとに3回まで。治療開始時の妻の年齢が43歳以上の場合、適用とされるか保険適

2020年まで 2回目以降15万円 最大通算6回まで 事実婚は対象外 所得制限は夫婦の合計730万円  
21年1月から 30万円に増額 子ども1人につき最大6回 事実婚も対象に 所得制限を撤廃

助成の対象外となる点は変わらない。1月1日以降に終了した治療が対象で、領収書などを添えて自治体に申請する必要がある。不妊治療は現在、公的保険の対象ではないが、全て自費となる「自由診療」だ。そのため治療にかかる金額は医療機関によって大きく異なる。政府は22年4月から不妊治療を公的保険の対象とすることを決めている。保険が適用されれば、通常は医療費の3割の自己負担が済むことになる。また、治療方法は多岐にわたるため、これまで保険適用とされるか保険適